弁証論治ライブセッション

2026 年 9 月 6 日　伊賀文彦

【症例 2】52 歳　女性　156.5 ㎝　51 ㎏　　**記入日：**令和 8 年 8 月 17 日

【主訴】疲労感と倦怠感

【現病歴】

3 年前にコロナに罹患後、疲労感と倦怠感が著しい。

少し良くなっても仕事が忙しく、アップダウンあり。常に体に残っている感じがある。そのため、活動量や運動量を減らしている。

朝、目が覚めた時が、いちばん体が重く疲れていて辛い。1 時間くらい横になってから起きている。

2 年前から漢方薬を内服している。口の中が熱い感じがある。足首は冷たいが、手掌、足底は熱いような感覚がある。目の疲れ、頭の疲れがある。首肩も凝っている。

自分自身で鍼やお灸を始めてからは、便が普通便になった。それまでは、食事を摂ると軟便が毎回あった。食欲も今ほどなかった。

2 ヶ月程前より五苓散、加味逍遙散に変えてから、体重がほぼ 2kg、口渇が軽減し、気持ちが落ち付く。血圧が 100-110/60-70 mmHg で低くなったが、体調は少し改善された感覚がある。

【問診票】

全般的な症状：足首が冷える　疲れやすい　足にむくみがある

頭部・顔面について：声がかすれる

胸部について：時々、動悸がある

食事について：食欲はあまりない　食事の量は普通　アルコールは飲まない　のどが渇き温かいものを少しずつ飲む　好きな味は酸っぱいもの、塩辛いもの

腹部について：脂っこいもので胃がもたれたり、下痢する

背部について：肩が凝る（風呂にはいると楽になる）　腰がだるい

便について：便通は 1 日 1～2 回で性状は普通。

皮膚について：あざができやすい

気分について：悩みやストレスが強い